

四国初のヘリを使った大規模土砂災害対応訓練を実施

豪雨や南海トラフ巨大地震などの際に発生が懸念される「天然ダム（河道閉塞）」は、上流の浸水被害や決壊による下流の大規模災害を引き起こすことから、天然ダム災害の防止には刻々と変化する水位の状況を把握する必要があります。

そのため、天然ダムの水位監視の円滑な実施を目的としたヘリを使った土砂災害対応訓練を実施します。

訓練では、**ヘリコプターから高さ約1 m、重さ約70 kgの水位計を水面に投下**するなど、実際の災害時に行う作業を実施します。

なお今回の訓練は、災害対応能力をいっそう向上させるため、**四国地方整備局としては初めて**、机上訓練ではなく実際にヘリからの水位計の投下作業などを行います。

1. 訓練日時

・平成30年2月28日（水）10：00～12：40

※予備日：2月27日（火）、3月1日（木）

2. 訓練場所

・池田湖水際公園、池田ダム湖
（徳島県三好市池田町イタノ）

3. 参加機関

・四国地方整備局河川部、四国技術事務所、四国山地砂防事務所

4. 協力機関

・四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所
・水資源機構 池田総合管理所
・三好市

5. その他

・見学スペースを用意していますので、ご自由に見学いただけます。（事前申込み不要）

・雨天等により日程変更又は中止する場合は、開催予定日（予備日の場合を含む）の前日17時までに事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/sabo/>）に掲載しますのでご確認ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模土砂災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先（○：主たる問合せ先）

国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400

副所長（技術） 白石 隆（しらいし たかし）

○調査課長 平澤 良輔（ひらさわ りょうすけ）

訓練の目的

- 土砂災害防止法に基づく河道閉塞（天然ダム）に関する緊急調査※1について、投下型水位計による水位監視の一連の手順及び関係者間の連携を確認することで、大規模土砂災害発生時の円滑な対応を図ります。

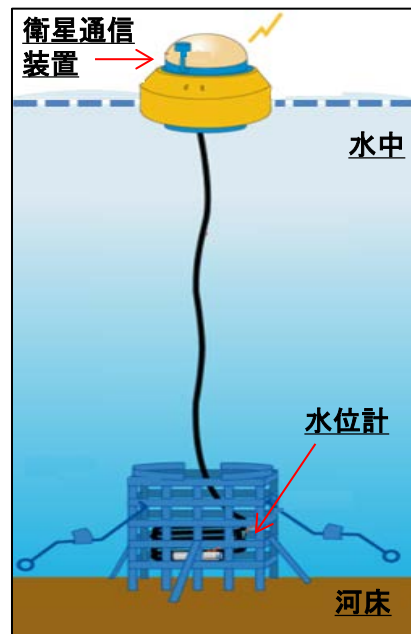
※1：詳しくは別途最終ページの参考をご覧ください。

投下型水位計とは

- 天然ダム発生時に国が実施する緊急調査等で使用します。
- 天然ダムの水位を観測する装置です。
- ヘリコプターでの吊り下げ輸送により災害発生後速やかに設置可能です。



高さ約1m、
重さ約70kg

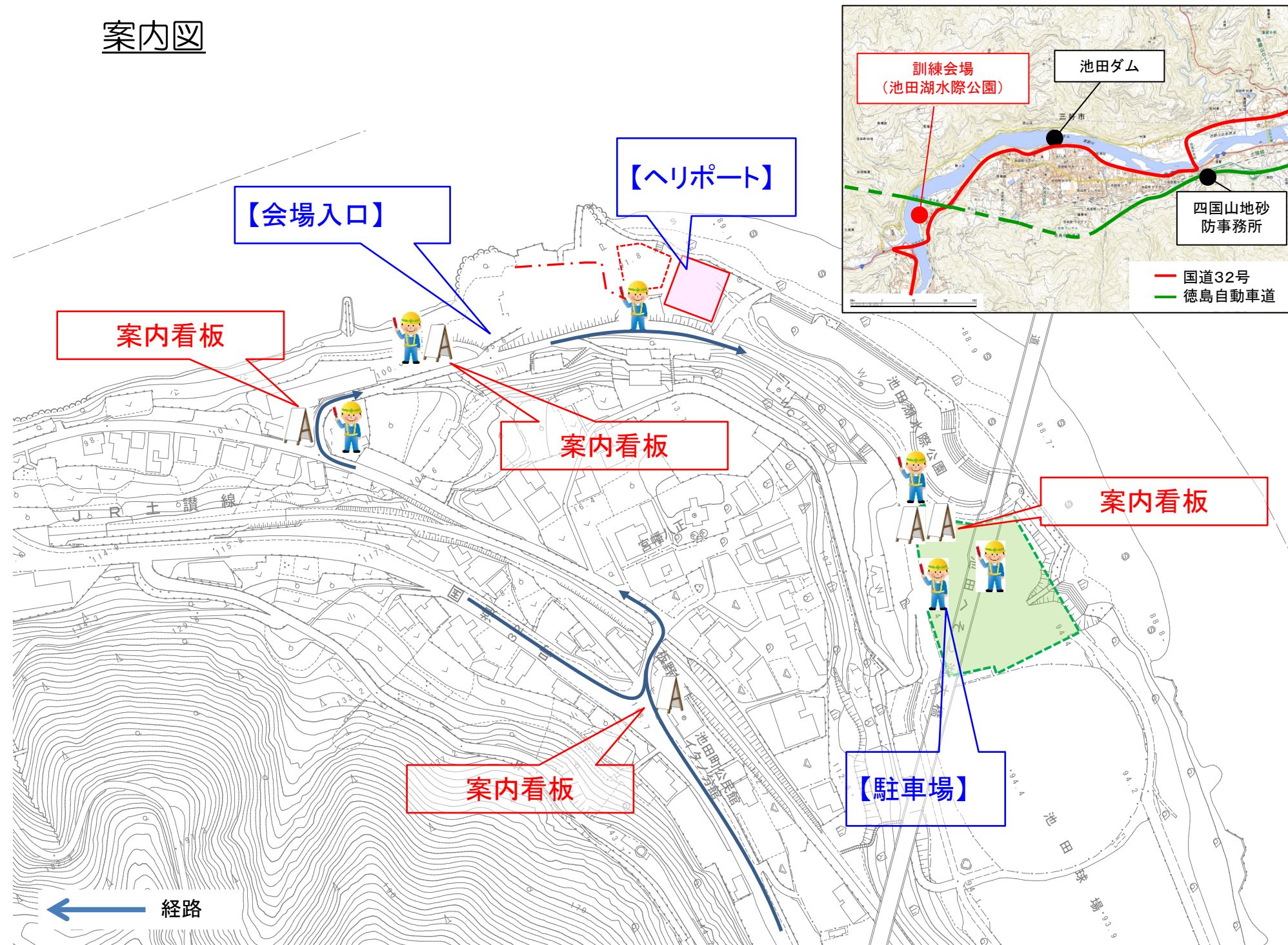


水位計運搬中のイメージ

今回の訓練の特徴

- 国土交通省に加えて、投下型水位計の運用に携わる関係機関が参加し、より実態に近い対応を確認します。
- ヘリコプターを用いた実践的な水位計設置訓練は四国で初めての取り組みとなります。
- 参加者及び見学者が同じ状況を認識、共有、理解できるよう説明者がその都度状況説明を行います。

案内図

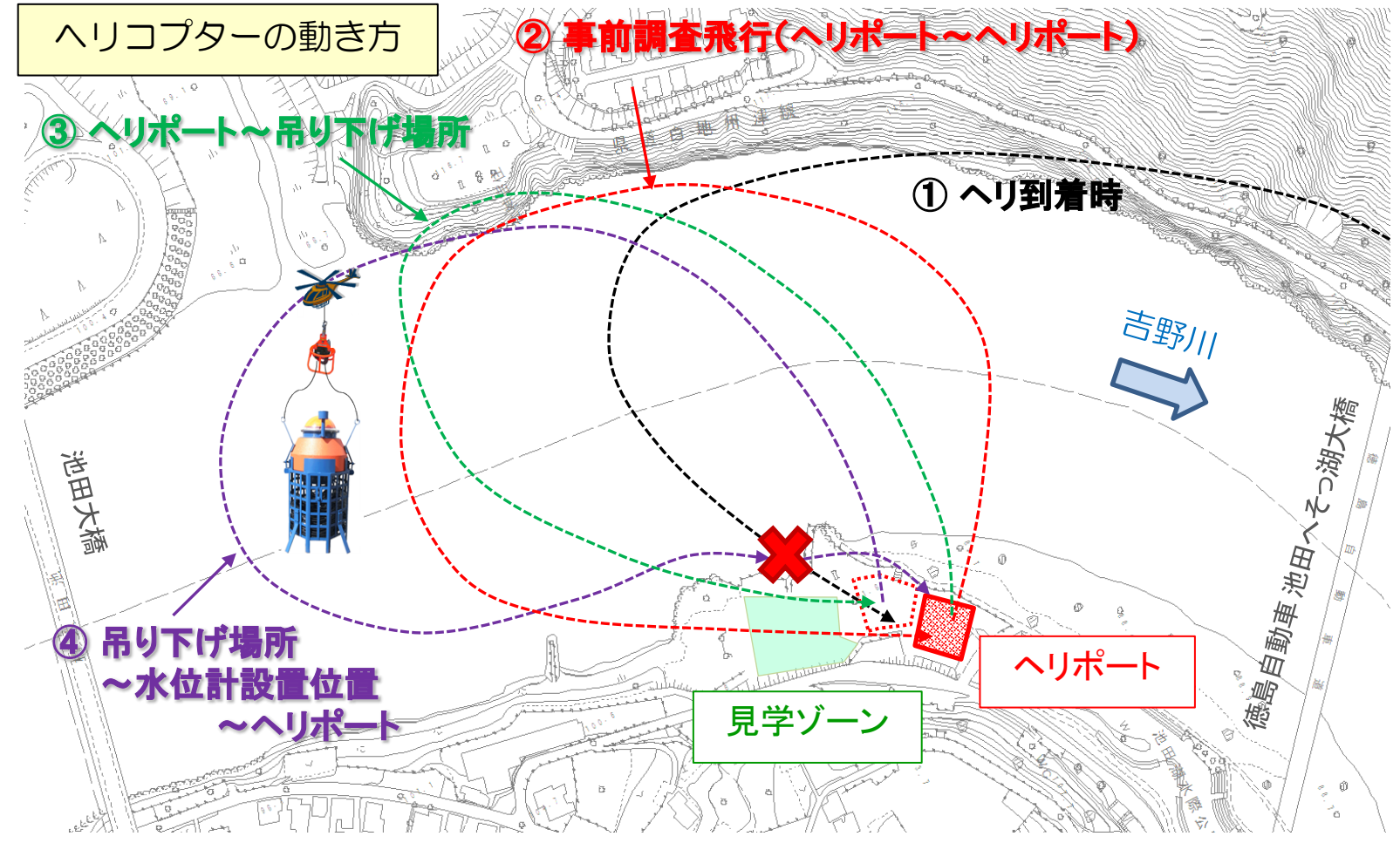


訓練開催概要

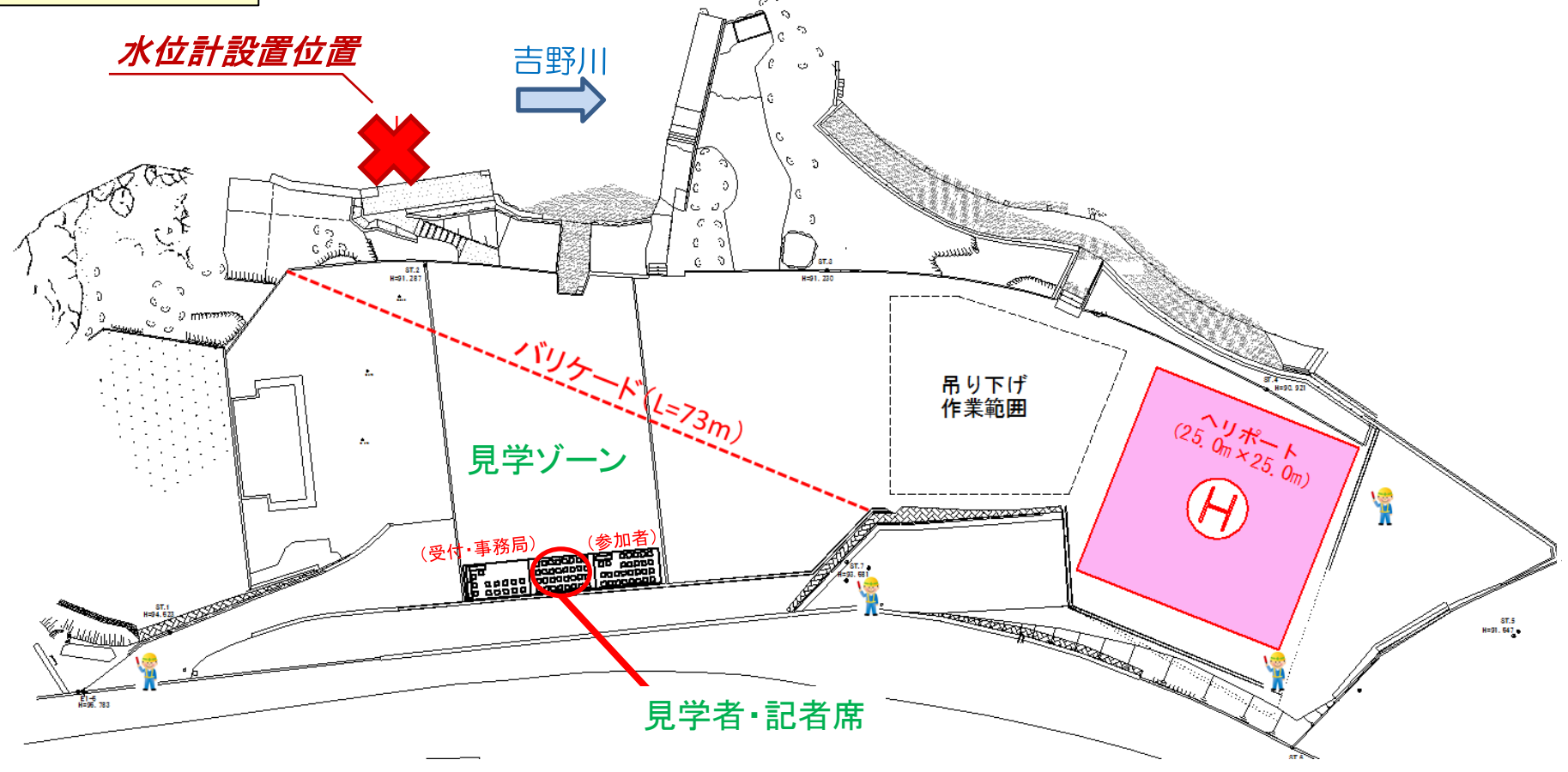
- 1) 開催日：平成30年2月28日(水) ※予備日：2月27日(火)、3月1日(木)
- 2) 会場：池田湖水際公園、池田ダム湖
- 3) 参加者：四国地方整備局河川部、四国技術事務所、四国山地砂防事務所
(協力) 池田総合管理所、吉野川ダム統合管理事務所、三好市

タイムスケジュール表

予定時間	実施項目
～10:00	現地集合
10:00～ 10:05	開会の挨拶
10:05～ 10:30	臨時ヘリポートにヘリが到着・着陸 (約10分) 実務訓練目的・進行方法の確認・説明 (約15分)
10:30	訓練開始
10:30～ 11:20	I 吊下げ準備打合せステージ ステージ説明 (約5分) 水位計の積込み・荷卸し訓練 (約20分) 事前調査飛行 (約10分) 水位計の起動準備・動作確認 (約15分)
11:20～ 11:45	II 設置ステージ① ステージ説明 (約5分) ヘリの移動・水位計の吊下げ作業 (約20分)
11:45～ 12:25	III 設置ステージ② ステージ説明 (約5分) ヘリの誘導指示・投下設置 (約20分) データ通信確認 (約15分)
12:25～ 12:40	参加者からの振り返り (約10分) 全体講評 (約5分)
12:40	閉会の挨拶、閉会・解散



会場レイアウト



※見学ゾーンで自由に見学頂けます

■緊急調査について

重大な土砂災害の急迫している状況において、土砂災害が想定される土地の区域及び時期を明らかにするため、特に高度な技術を要する場合は国土交通省が、その他の場合については都道府県が緊急調査を行うこととしています。

本訓練は国土交通省が緊急調査を行う天然ダム災害への対応を想定しています。

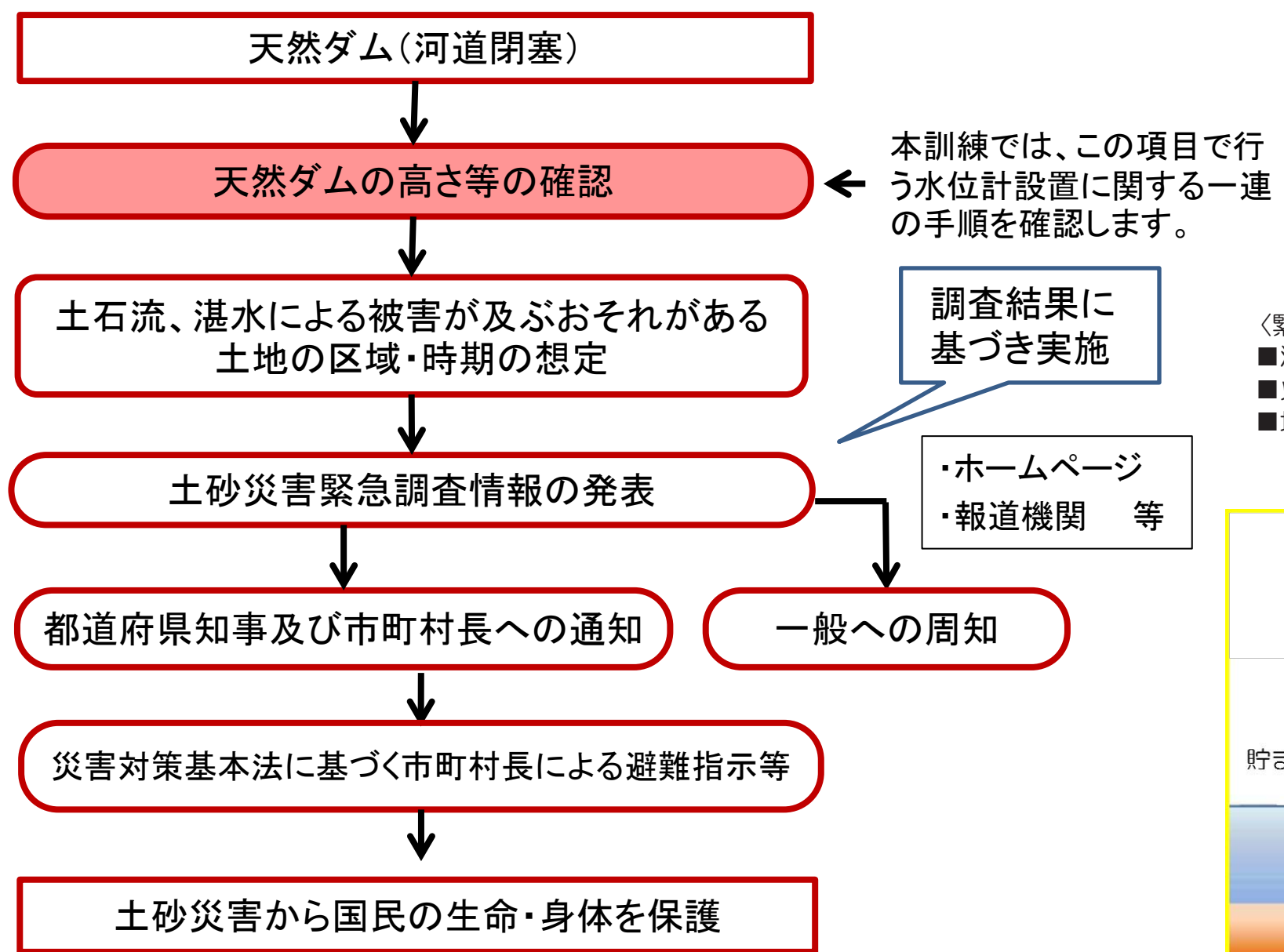
■天然ダムについて

大雨や地震によって、山から流れ出た大量の土砂が川をせき止め、形成される地形を天然ダムと呼びます。

天然ダムの上流では、せき止められた川の水による浸水被害が生じます、また、天然ダムが決壊すると大量の土砂や水が下流に流れ出し、大規模災害に発展します。



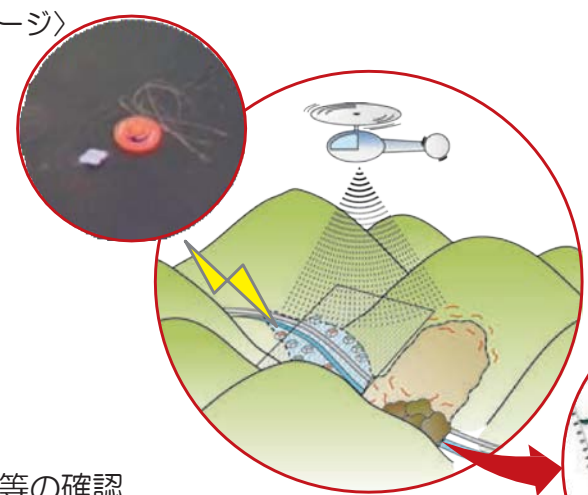
■緊急調査の進め方(天然ダム災害の場合)



緊急調査

〈河道閉塞に関する調査イメージ〉

投下型の水位計による水位の自動観測



ヘリコプターからの河道閉塞の計測

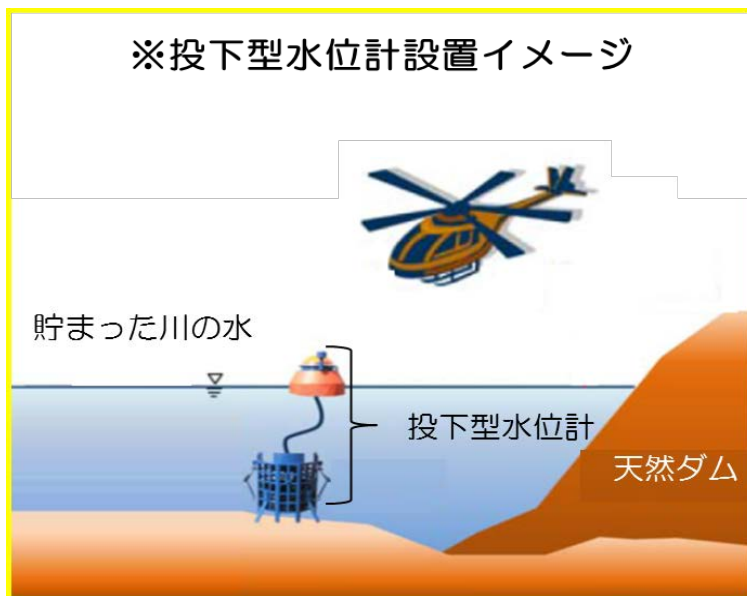
〈緊急調査の実施内容〉

- 河道閉塞 → 河道閉塞の高さ等の確認
- 火山噴火 → 降灰等の堆積状況等の確認
- 地滑り → 地割れ等の発生状況等の確認



レーザー計測による河道閉塞周辺の計測

※投下型水位計設置イメージ



○投下型水位計による観測の有効性

天然ダムによる被害を防止するためには、住民避難や決壊を防ぐ対策を行うための情報が必要です。

そのため、投下型水位計をいち早く設置して、リアルタイムの水位を計測し、危険性が高まるタイミングを予測することで、住民避難等の検討を行うことができます。